

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人 印旛沼環境基金	県所管課	環境生活部水質保全課
代表者	理事長 藤 和雄	電 話	043-223-3821
所在地	佐倉市宮小路町12番地		
電 話	043-485-0397		
設立年月日	昭和59年11月20日		
ホームページ アドレス	http://www.i-kouiki.com/imbanuma/		
事業内容	印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼周辺の環境保全に資することを目的とし、主に次の事業を行う。 1)印旛沼及び流域における水環境及び動植物の生態系に関する調査研究 2)印旛沼及び流域河川の水質浄化、環境保全のための講習会、研究会、見学会、その他啓発活動の実施 3)印旛沼及び流域において自然環境に関する調査研究や環境保全に関わる各種活動を行っている団体等との協働及び支援		

1 出資等の状況(H27.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	564,526
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	275,000	48.7%	1	
船橋市	52,414	9.3%	2	
千葉市	40,280	7.1%	3	
佐倉市	38,050	6.7%	4	
印旛郡市広域市町村圏 事務組合	36,000	6.4%	5	
八千代市	35,140	6.2%	6	
印西市	17,710	3.1%	7	
八街市	16,340	2.9%	8	
四街道市	13,600	2.4%	9	
白井市他13者	39,992	7.1%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H27.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
総資産	586,211	586,320	584,550
負債	254	377	381
(うち有利子負債)			
純資産	585,957	585,943	584,169
累積損益(利益剰余金)	18,466	18,428	16,645

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	7,706	8,445	7,824
経常損益	1,027	462	△ 1,483
当期損益	1,027	462	△ 1,483
減価償却前当期損益	1,090	511	△ 1,483

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
借入金残高			
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
委託料				
補助金・交付金・負担金				
合計		0	0	0

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
委託料のうち再委託したもの				
再委託のうち入札によるもの				
再委託のうち随意契約によるもの				

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	25年度	26年度	27年度
常勤役員数			
うち県退職者			
うち県派遣職員			
常勤職員数			
うち県退職者			
うち県派遣職員			

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	25年度	26年度	27年度
役員数(県派遣又は県OB)	人(人)	人(人)	人(人)
役員平均年齢			
平均年収(千円)			
職員数(県派遣又は県OB)	人(人)	人(人)	人(人)
職員平均年齢			
平均年収(千円)			

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※実人員の考え方

- ・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人
- ・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成27年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	経営改善
改革方針(概要)	・出捐金の運用改善、民間団体からの寄附等による財源の確保、ボランティア団体等への援助金や各事業の経費配分の見直し等、より効率的・効果的な取組みを推進する。
取組状況	<p>・出捐金の運用改善については、平成23年度及び24年度において、それまでの10年債(1.4%と1.0%)から20年債(1.83%と1.701%)としたことで運用益が増額となった。</p> <p>26年度においても同様に5年債(0.92%)から20年債(1.52%)としたことで運用益が増額となった。</p> <p>・また、26年度の20年債の購入にあたっては、その運用益を十分に活用するために、9月と3月となっていた受け入れ時期を6月と12月とし、それまで繰越金となっていた3月分の運用益を事業に充当できるようにした。</p> <p>・より効率的・効果的な事業推進については、環境保全活動を行っている学校や市民団体への助成活動について、平成24年度に助成方法を見直し、より多くの団体が応募できるように改善した。平成26年度は、7団体(高校1校、大学1校、NPO法人等5団体)に助成した。</p> <p>・次世代を担う小中学生を対象とした「印旛沼の探検」を新たに実施し、平成26年度は、62名の参加があった。</p> <p>・当基金の主要事業である「水辺の風景画コンクール」の作品募集にあたっては、より多くの小・中学校に広報したことにより、平成26年度は、当基金を構成する13市町の小・中学校129校から2千点あまりの作品が応募された。</p>
その他(特記事項等)	

* 平成24年3月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。